

リスクマネジメント

基本的な考え方

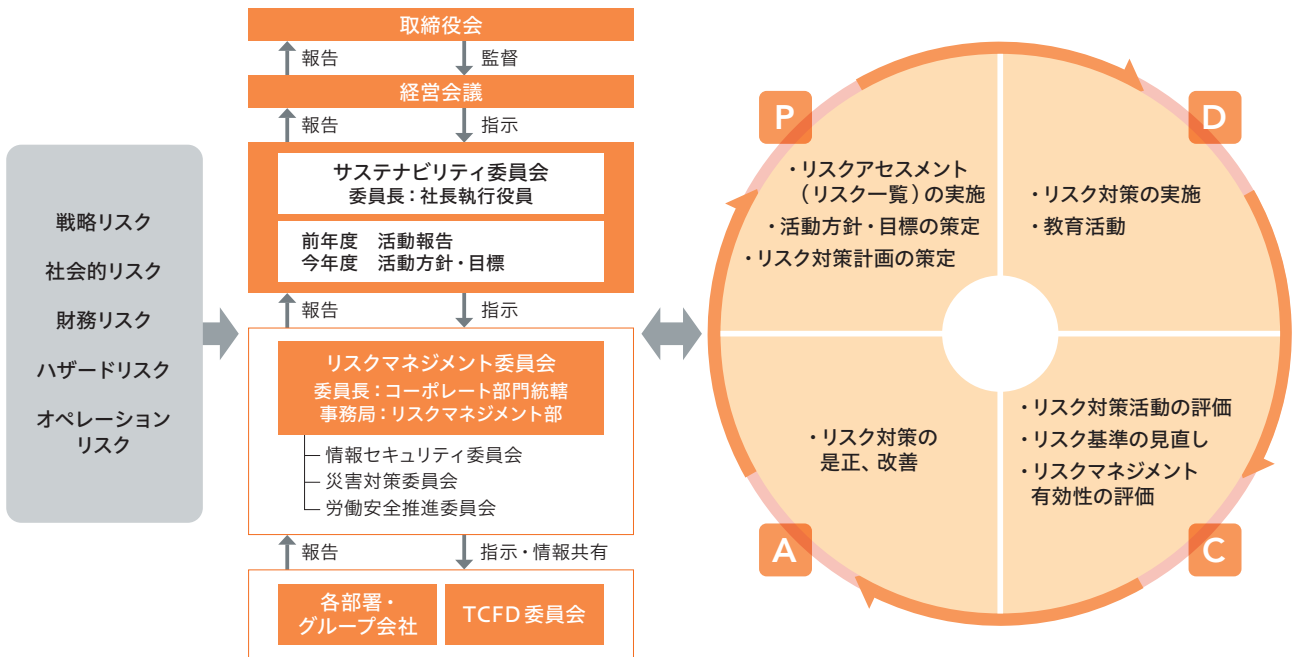
昭和産業グループでは、「リスクマネジメント基本方針」に基づきリスクマネジメント委員会を設置し、企業経営に対する重大なリスクへの適切かつ迅速な対応の強化に取り組んでいます。

リスクマネジメント推進体制

当社グループでは、リスクマネジメント委員会にて年1回、経営目標の達成を阻害する可能性のあるリスクを洗い出し、それらについて「経営への影響度」と「発生可能性」のマトリックスで構成されるリスク基準により評価を行い、リスクの重要度を決定するリスクアセスメントを行っています。

特に、重要度の高いリスクについては、各部門統轄からリスクマネジメント委員会にて対応方針を報告し、委員会において対応状況をモニタリングして改善・指導を行うことで、リスク低減に向けた継続的なリスクマネジメント活動を展開しています。

● リスクマネジメント推進体制図



重大リスクの特定

経営に重大な影響を及ぼす可能性があるリスクは以下の通りです。

リスク項目	関連する主なリスク
1. 原料穀物調達 (穀物相場・ 為替の変動等)	・ 穀物相場や為替相場の急激な変動 ・ 持続可能な原料穀物の調達
2. 製品安全	・ 製品の安全・安心への懸念 ・ 製品不良による製品回収のコストアップ ・ 信用低下に伴う顧客離れ
3. 災害・事故・ 感染症	・ 従業員の出勤不能 ・ サプライチェーンの断絶 ・ 工場操業停止

リスク項目	関連する主なリスク
4. 情報セキュリティ	・ サイバー攻撃でのシステム停止 ・ 情報漏洩による損害賠償
5. 気候変動	・ 低炭素社会への移行リスク ・ 異常気象の激甚化や平均気温上昇等の物理的リスク
6. 人権	・ 競争力および企業価値の低下(従業員の生産性低下、優秀な人財の流出、企業イメージ、信頼の毀損等)
7. 企業買収及び 合併事業	・ のれん等の減損リスク

各リスクに対する主な取り組みはWebサイトをご覧ください。 <https://www.showa-sangyo.co.jp/csr/governance/risk-management.html>